

現在の不肖の思いと願いをお伝えいたしたく書面を以て読みあげさせていただきます。

元々管長職をお引き受けいたしました時より、一期四年にて退任の予定でありました。

しかしながら、任期半ばにて新型コロナウイルス感染症が発生し、このことよって殆どの行事・法要もできなくなり中止が多くなりました、その様な状況下、総長さん始め内局の重役方から二期目も継続して管長職を続けて欲しいとの強い依頼がございました。

それらの状況を熟慮した結果、一つには任期在任中の半分近くは何もできなかったという思いがあり、また、二つ目にはコロナ蔓延という状況の下、新しい管長さんの晋山式、他、様々な就任に係る儀式を執り行うことができないとの内局のお気持ちも理解できました。

その結果、二期目を受諾いたしました。心中はコロナがある程度落ち着き、様々な行事や儀式が以前のように執り行われることができるようになれば任期半ばでも辞任しようと思っておりました。

自坊である瑞泉寺も不肖が留守がちであるため、雲水の減少、また後任住職の問題が出てまいりました。僧堂師家、また住職にとって一番大切なことは、雲水を指導し、後任住職を育てることという原点に

帰るといふ思いにみちております。

そこで、来たる五月八日をもって、新型コロナウイルスの感染症法上の扱いがインフルエンザと同じ五類となり、また全国各地では、親化授戒会、花園会地方大会や晋山式、齋会など様々な法要も以前のように行われるようになってまいりました。管長晋山式も挙行されるにあたり支障もなくなってきたと思えます。

できれば、すぐに辞任して僧堂へ帰山いたしたいのですが、それは後任の方を推戴いただく時間もございませんので、令和六年三月三十一日をもって辞任いたしたく、深くお願いいたします。

以上、様々な理由を申しあげましたが、不肖の意思は固く、もし慰留していただけたとしてもその気持ちは変わることはございません。よって速やかに後任の管長さんの推戴をお願い申しあげます。

(令和五年四月十二日 小倉宗俊管長猥下おことば)